

2024年度第2回研修会報告



前川貴美子室長

2024年第2回研修会は、2025.3.22(土)に恒例の思春期カフェとして「**岩手県の思春期保健における課題あれこれ**」をテーマに、岩手県保健福祉部子ども子育て支援室室長**前川貴美子**さんを講師にお迎えし、1時間半の講義の後に、30分のトークタイムを設けました。

前川さんからは、こども基本法、いわてこどもプラン(2025~2029)を中心に、思春期保健を考える上で大切な4つの視点についてお話いただきました。当事者(子ども)の声をきちんと聴くということの大切さを熱い思いで語られました。お話の中で出てきた「スキルがなくても正しい視点があれば大丈夫」「福祉は営業はしない」といったお言葉が印象的でした。

後半のフリートークでは、医師、行政、教育、助産師、保健師、それぞれの立場からのお話を聞くことができる有意義な会でした。



思春期保健を考える上で(前川さんが)重要と感じた視点

- ① こどもの権利
- ② アタッチメント(愛着)の形成
- ③ こどもが抱える様々な困難
- ④ ライフデザイン形成

新会長 吉田耕太郎先生就任挨拶

令和7年度より小林高前会長の後任としていわて思春期研究会の会長を拝任いたしました吉田耕太郎と申します。会長就任にあたりご挨拶をさせていただきます。私は父が盛岡市内に開業した産科婦人科吉田医院に平成元年に帰郷して副院長、7年から院長として現在に至っている産婦人科医です。宜しくお願い致します。

いわて思春期研究会の事を初めて耳にされる方もいらっしゃると思いますので設立の経緯をお話しします。きっかけは平成4年から盛岡市保健所を事務局とした「思春期談話会」でした。県内から多くの多職種の方々の参加があり、私もできる限り出席しました。将来を担う子どもたちに関する課題などについて議論した非常に有意義な会でした。その後行政の事情もあり会は終了となりましたが、小林先生をはじめ有志の方々の熱き思いで平成21年9月5日にいわて思春期研究会として設立されました。その後多くの多職種の方々が会員になってくださり設立趣意(ホームページに記載)に基づき地道に活動を続けてきました。

現在SNSなど情報ネットワークの目まぐるしい進歩により多くの分野で効率化がなされ便利に思う事が多くなりましたが、ネット上の誹謗中傷、詐欺、フェイクニュースなどの被害も多く発生しています。このような現状ですが、いわて思春期研究会は今後も思春期の多くの課題に対して、行政も含めた多職種の方々との連携を強化して対応していきたいと思っています。特にプレコンセプションケアの推進に取り組んでいきたいと思っていますのでご協力のほど宜しくお願い致します。

いわて思春期研究会ニュースレター

第14号 2025年12月発行

発行元：〒020-0693 岩手県滝沢市巣子 152-52 岩手県立大学看護学部 母子看護学講座内「いわて思春期研究会」事務局 FAX：019-694-3232 メール：y9h984@bma.biglobe.ne.jp(吉田)

作成者：いわて思春期研究会情報委員会 佐藤卓 米澤慎悦 住吉美保 佐賀唯衣

2025年度いわて思春期研究会第2回研修会が開かれます

テーマ：「思春期カフェ 開催！」

講師：岩手医科大学看護学部成育看護学講座 西里 真澄 先生

日時：2026年2月22日(日) 13時00分~15時30分

場所：アイーナキャンパス学習室1(アイーナ7階)

参加費：会員無料、非会員 500円

<プログラム>

13:00-13:00 開会 挨拶(吉田耕太郎会長)

13:05-13:50 基調講演「小学校から高校までの包括的性教育の方向性」

講師：岩手医科大学看護学部成育看護学講座

西里 真澄 先生

13:50-14:30 話題提供「学校で取り組む包括的性教育」

小学校の状況 盛岡市立津志田小学校 養護教諭 田村美穂子先生

中学校の状況 盛岡市立下小路中学校 養護教諭 新沼幸枝先生

14:30-14:40 休憩

14:40-15:30 グループワーク

テーマ「包括的性教育の方向性」

助言者 岩手医科大学看護学部成育看護学講座講師 西里真澄先生

座長 いわて思春期研究会理事 阿部美貴先生

15:30 閉会

参加申し込み
フォーム



2025年度いわて思春期研究会第1回研修会が開かれました

2025年8月23日（土）

講演：テーマ「健やかに生きる～青森県産婦人科校医制度の紹介等も含めて～」

講師 岩手県二戸病院産婦人科医 阿部 美貴 先生



阿部 美貴先生

【阿部美貴先生はこんな人】

- ・岩手県盛岡市出身
- ・1990年弘前大学医学部卒業後、津軽保健生活協同組合健生病院に入職
- ・40年間過ごした弘前から昨年お戻りになり、令和7年4月から二戸病院に勤務。
- ・青森県では臨床産婦人科医会理事、弘前市医師会理事、女医会会長などを歴任し、中高での性教育も行っていた方。
- ・現在、岩手県産婦人科医会理事。

産婦人科医師としての今までの取組とその中で、必要だと思う理念を力強くお話いただきました。

その中でも、女性は自分の健康を守るための知識が必要だけれども、そのことが義務教育に盛り込まれていないのは課題だと感じました。

先生が最後におっしゃった「女性が身体的・経済的・社会的圧力を受けることなく、自己決定ができる社会を目指して、できることを少しずつでもしたいです」という言葉に非常に共感しました。

関連

性的同意にも関連するバウンダリー（境界線）
心理学や対人関係において「自分と他人との間に引く適切な境界線のこと」

「私は私」という境界線

*参考：福祉をたずねるクリエイティブマガジン「こここ」

<https://co-coco.jp/series/study/boundary/>

グループワーク ～学校における性の教育の実態！～

助言者 岩手県二戸病院産婦人科医 阿部 美貴 先生

座長 いわて思春期研究会 会長 吉田 耕太郎先生

20分間の短い時間のグループワークでしたがそれぞれ自己紹介や日頃の活動、課題などが話し合われていました。各グループから発表後、阿部先生から感想を頂きました。

（グループ内で出た話）

- ・学校外の学童などで、性教育を実施。保護者をはじめ社会の関心が高まっている感じ。
- ・学校の事業として「思春期保健研修会」の実施。保護者、生徒を対象にしているが、予算の壁がある。
- ・小学校、中学校で性教育実施。高校生にはライフプラン、プレコンについて。・災害時の性暴力
- ・男女共同参画サポート、性教育の講演会。・幼児期からの性教育は親に先に行う。（生協 パピファミ）
- ・売春防止法、最近変わった。・学校での性教育について
- ・望まない妊娠、学校の実態知りたい・大学生の性の悩み多い、もっときちんと教える必要ある
- ・本日の話はショックを受けた、日本の性教育が遅れている ・妊娠SOSいわての活動紹介

情報提供 「包括的性教育」

～デンマーク・スウェーデン・オランダのユースクリニックを視察して～

講師 久慈市立小袖小学校 養護教諭 山岡 咲 先生



山岡 咲先生



関連

【こどもの権利】大切な4つの考え方

- ① 差別のないこと
- ② 命を守られ成長できること
- ③ こどもにとって最もよいこと
- ④ 意見を表明し参加できること

大事なのは「こどもの意見を聴くこと」

参考：こども家庭庁ホームページ <https://www.cfa.go.jp/policies/childrights>



参加者の感想をご紹介します

このようなシステムが日本にも欲しい！と思いました。日本の人権教育はやっと始まったところ…だが、ぜひユースクリニックの様な場所が岩手にもほしい。

まずは知ること、情報の提供が大切。思春期教室において小中学生に情報提供しなければならないこと、伝え方について追加しなければならないことが分かりました。阿部先生のお話はもっと聴きたいと思いました。

若い養護教諭の先生が海外まで研修を深められていること、すばらしく感じました。学校で包括的性教育を進めるのは大変なことがあると思います。ご活躍を願っています。

同意、バウンダリーの話はなかなか聞けないのでありがたかった。セクシャリティ教育をかみ砕いた表はとても分かりやすかった。助けてと声をあげられる人に育てていきたいというところにとっても共感した。